

## 高齢者保健福祉推進計画(第10期介護保険事業計画)

### 策定に係る実態調査の概要

#### 1 調査目的

第10期計画(計画期間:令和9年度から令和11年度)の策定に向けて、高齢者の状況や高齢者施策に対するニーズなど、実態を把握するための調査を行う。

#### 2 調査内容

現行計画(第9期計画)策定に向けて令和4年度に行った調査内容を踏襲する。

##### (1)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護・要支援認定を受けていない高齢者及び要支援1・2の高齢者を対象に、身体状況や生活状況等に関する調査を行い、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握する。

##### (2)ケアラー調査

要介護1から5の認定を受けている在宅の高齢者の介護者を対象に、介護の状況や介護に対する意識等に関する調査を行い、家族介護の状況を把握する。

##### (3)在宅介護実態調査

在宅の要支援・要介護認定者で、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方を対象に、利用しているサービスや介護者の勤務形態等に関する調査を行い、介護保険サービスの利用状況や介護者の就業状況を把握する。

##### (4)介護保険事業所調査

介護保険事業所を対象に、従業員数やサービス提供等に関する調査を行い、人材確保の状況や運営状況を把握する。

#### 3 国の指針等

令和6年11月に、厚生労働省から第10期計画作成に向けた調査について情報提供があった。第10期計画の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と在宅介護実態調査の調査項目は、第9期計画から大きく変更する予定はないとのことである。

第10期計画の作成に向けた調査項目や手引き等は、令和7年度に示す予定とのことなので、今後示される指針等に沿って、各調査を実施する。

#### 4 現行計画(第9期計画)の策定に係る実態調査の概要(令和4年度実施)

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(その1)」、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(その2)」、「在宅介護実態調査」、「介護保険事業所向けアンケート調査」の4調査を実施した。

##### (1)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(その1)

目的	要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況の把握			
実施期間	令和4(2022)年10月26日～11月17日			
調査方法	郵送配付・郵送回収			
対象	市内在住の一般高齢者及び	配布数	回収数	回収率
	要支援1、2の方7,392人	7,392件	4,644件	62.8%

##### (2)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(その2) R7は「ケアラー調査」に名称変更

目的	家族介護の状況の把握			
実施期間	令和4(2022)年10月26日～11月17日			
調査方法	郵送配付・郵送回収			
対象	要介護1～5の認定を受けている在宅高齢者の介護者	配布数	回収数	回収率
	(同居の家族)1,120人	1,120件	410件	36.6%

##### (3)在宅介護実態調査

目的	介護保険サービスの利用状況や介護者の就業状況の把握			
実施期間	令和4(2022)年4月～10月			
調査方法	各区介護認定調査員による聞き取り調査			
対象	在宅で生活をしている要支援・要介護認定者のうち、			回収数
	更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方 640人			640件

##### (4)介護保険事業所向けアンケート調査 R7は「介護保険事業所調査」に名称変更

目的	人材確保の状況や運営状況を把握			
調査方法	令和4(2022)年12月7日～12月26日			
調査方法	L o G o フォーム(電子申請フォーム)による電子回答			
対象	市内で介護保険サービスを提	配布数	回収数	回収率
	供する事業者1,495事業所	1,495事業所	673件	45.0%

## 5 現行計画(第9期計画)の策定に係る実態調査における主な質問事項

### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(その1)

#### ○生活状況について

- ・家族構成(一人暮らし、夫婦2人暮らしなど)
- ・介護・介助が必要か(介護・介助が必要になった主な原因など)

#### ○からだを動かすことについて

- ・階段昇り、椅子からの立ち上がり、15分位続けて歩行できるか、歩く速度
- ・過去1年間の転んだ経験、転倒に対する不安
- ・外出について(頻度、昨年と比較した外出の回数、主な移動手段など)
- ・介護予防に取り組んでいるか、週に1回以上運動しているか

#### ○食べることについて

- ・身長、体重
- ・固いものの食べにくさ、お茶や汁物等でむせることの有無
- ・だれかと食事をともにする機会の頻度

#### ○毎日の生活について

- ・物忘れなど(今日が何月何日かわかるか、5分前のことを覚えているか)
- ・バス、電車を使った1人での外出の有無
- ・食品や日用品の買い物、食事の用意、請求書の支払い、預貯金の出し入れ
- ・パソコンやスマートフォンの使用状況
- ・趣味の有無、生きがいの有無

#### ○地域での活動について

- ・会、グループ等への参加頻度  
(ボランティア、スポーツ関係、趣味関係、町内会、収入のある仕事など)
- ・会、グループ等への参加者または世話役としての参加意向

#### ○健康について

- ・現在の健康状態、幸福度、飲酒の有無、喫煙の有無
- ・治療中、後遺症のある病気、通院の有無、在宅医療や介護への意向

#### ○認知症にかかる相談窓口の把握について

- ・自分または家族に認知症の症状があるか
- ・認知症に関する相談窓口やサービスの認知度
- ・あんしんケアセンター(地域包括支援センター)の認知度
- ・専門職以外によるサービスの利用の意向(買い物、ごみ出しなど)
- ・外国人や介護ロボットによる介護サービスの利用の意向

## (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（その2）

### ○ケアラー（介護者）について

- ・ケアラー（介護者）の性別、年齢、介護している人数
- ・ケアラー（介護者）と介護・介助を受けている方（被介護者）の関係
- ・介護・介助と同時に子育てをしているか

### ○介護の状況について

- ・介護・介助が必要になった原因
- ・介護・介助の年数、内容、頻度、時間
- ・ケアラー（介護者）が困っていること、悩んでいること

### ○サービスの利用状況等について

- ・介護保険サービスなどの利用の有無と内容
- ・サービスを利用していない理由
- ・自宅で訪問介護などのサービスを利用することへの抵抗感
  - ①ケアラー（介護者）の考え、
  - ②介護・介助を受けている方（被介護者）の考え
- ・医療や介護が必要になったとき、どのような場所で暮らしたいか
  - ①ケアラー（介護者）の考え、
  - ②介護・介助を受けている方（被介護者）の考え
- ・外出する際の移動手段

### ○ケアラー（介護者）の生活状況について

- ・健康状態、趣味や休息の時間、睡眠時間、就労・就学の状況
- ・介護しながら就労・就学を続けられている理由
- ・介護のために退職・退学した理由

### ○ケアラー（介護者）が知っている相談窓口や制度などについて

- ・認知症に関する相談窓口やサービスの認知度
- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業の認知度、利用の有無
- ・専門職以外によるサービスの利用の意向（買い物、ごみ出しなど）
- ・外国人や介護ロボットによる介護サービスの利用意向

### (3) 在宅介護実態調査

#### ○介護の状況

- ・主な介護者の性別、年齢
- ・介護の頻度や内容

#### ○サービス等の利用状況

- ・介護保険サービスの利用の有無（住宅改修、福祉用具貸与・購入は除く）
- ・介護保険サービス以外の支援・サービスの利用の有無
- ・介護保険サービスを利用していない理由
- ・施設等への入所・入居の検討状況

#### ○介護者の勤務状況

- ・主な介護者の勤務形態、働き方の調整等の有無
- ・介護を理由に仕事を辞めた家族の有無
- ・今後も働きながら介護を続けていけそうかどうか
- ・現在の生活を継続していくにあたり不安に感じる介護

### (4) 介護保険事業所向けアンケート調査

#### ○経営やサービス提供について

- ・今後3年間の経営方針とその理由
- ・介護サービス向上のために効果があった取組み
- ・介護保険外サービスの提供の有無と内容
- ・認知症の方への対応で課題になっていること

#### ○介護人材の確保について

- ・現在の従業員数、理想とする従業員数
- ・直近1年間の採用者数、離職者数
- ・実際の従業員数が理想とする従業員数よりも少ない理由
- ・人材を確保するために希望する支援

#### ○介護ロボットの利用状況

- ・利用している介護ロボットの分野（見守り、移乗支援など）
- ・介護ロボットを利用するきっかけや活用に必要なこと

#### ○外国人介護職員の雇用状況

- ・外国人介護職員の雇用の有無
- ・外国人介護職員が利用している制度（在留資格「介護」や技能実習生など）